

不正リスクに関連する用語の説明

用語	説明
重要な虚偽表示のリスク	財務諸表に重要な虚偽の表示が含まれる可能性。「財務諸表全体」及び「財務諸表項目」の2つのレベルにおいて評価が行われる。
不正リスク要因	不正を実行する動機やプレッシャーの存在を示し、不正を実行する機会を与え、または不正を実行する際にそれを正当化する事象や状況
不正による重要な虚偽表示のリスク (不正リスク)	重要な虚偽表示のリスクのうち、不正による重要な虚偽表示のリスク
特別な検討を必要とするリスク	会計上の見積りや収益認識等の重要な会計上の判断に関して財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす可能性のある事項、不正の疑いのある取引、関連当事者間で行われる通常ではない取引等の特異な取引等、監査の過程において識別した重要な虚偽表示のリスクのうち、監査人が特別な検討が必要であると判断したリスク。監査人は、財務諸表における重要な虚偽の表示をもたらしていないかを確認するための実証手続の実施などを求められている。
不正の端緒を示す状況	監査人が監査実施の過程で識別した、財務諸表に不正による重要な虚偽の表示をもたらす可能性が示唆されている状況
不正の端緒	不正による重要な虚偽表示の端緒を示す状況が識別され、または、不正リスクに対する十分かつ適切な監査証拠を入手できない場合において、明らかに重要な虚偽の表示に結びつかないと結論づけるに足る十分かつ適切な監査証拠を入手した場合を除き、監査人はこれを不正の疑いがあるものとし、不正の端緒として取扱う。